

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
医事コンピュータ IV Computer Medical IV		2年	後期 1 / 2	別途、時間割参照
単位数	授業の形態		授業の性格	
2単位	演習		選択	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
PC 関連科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
医事コンピュータ I・II・III				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
古川 貴子	講義棟 2F	木・金・土 (授業・会議時間以外)	授業中に指示します	
授業の概要				
医療業界は日進月歩であり、臨床も複雑化してきている。その中で病院業務も IT 化により多様な医療事務の知識や実務が求められる。演習問題を中心に、現場で求められている医事課の仕事を理解し、日々変化する現場状況を踏まえながら学習を図る。				
授業の到達目標				
① ICD と DPC の関係を理解できるようにする。 ② DPC 算定方法を理解できるようにする。 ③ 初級がん登録の理解ができるようにする。 ④ DPC 学内認定に合格できるようにする。				
授業の方法				
補足資料を配布し、少しでも多くの演習問題を解くことにより、DPC 算定の計算方法を理解する。初級がん登録の基礎学習を図る。				
学習の成果				
① ICD と DPC の関係を理解することができる。 ② DPC 算定方法を理解することができる。 ③ 初級がん登録の基礎を理解することができる。 ④ DPC 学内認定の受験資格を得ることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス・DPC とは			
第2回目	DPC と IDC コーディングの繋がり			
第3回目	DPC 対象病院・対象患者			
第4回目	包括評価の対象と出来高払いによるもの			
第5回目	診断群分類コード14桁の構成・入院期間別点数			
第6回目	主要診断群 (MDC) ・請求パターン			

第7回目	厚生労働省病院調査について (DPC 対象病院および準備病院)	
第8回目	包括評価部分の算定①	
第9回目	包括評価部分の算定②	
第10回目	DPC 請求 NAVI による実践症例演習 I	
第11回目	DPC 請求 NAVI による実践症例演習 II	
第12回目	DPC 請求 NAVI による実践症例演習 III	
第13回目	院内がん登録・地域がん登録について	
第14回目	臓器がん登録および活用法	
第15回目	まとめとテスト	
成績評価の方法と基準		
	評価の領域	割合
		評価の基準
授業参加態度	20%	分からないところがあれば積極的に質問している。
レポート	20%	出された課題の提出期限を守っている。講義内容をふまえて、課題を理解し、適切な論理展開となっている。
調査報告書		
小テスト		
中間・学期末試験	60%	学期末試験を実施し、授業の到達目標に掲げた項目の理解度に応じて評価する。
発表内容 (態度含む)		
その他		
教科書と参考図書		
DPC 請求 NAVI		
履修上の心得・ルール		
授業を集中し、DPC 請求をよく理解する。PC 操作で分からないところは必ず質問すること。学内 DPC 検定を受験する場合は必ず履修すること。		